

小千谷の歴史

小千谷の歴史(二十七版)

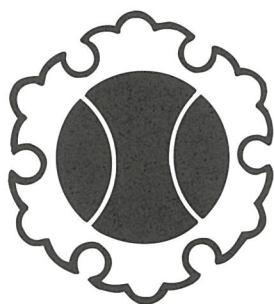
2019

小千谷市教育委員会

二〇一九



小千谷の歴史



小千谷市教育委員会

はじめに

昭和五十五年（一九八〇年）に制定された小千谷市民憲章『小千谷市民のねがい』の最初に、「美しい山河にめぐまれ、深い雪におおわれるこの風土に生きた先人は、やさしく忍耐強い気風と、おおらかな雪国の文化と、独創的な産業を育ててきました。」と記されています。

このふるさと小千谷の歴史・自然・文化・人々の営みは、今の私たちの生活と深く結びれ、つながっているのです。

ふるさとの歴史をたどっていくと、目の前の山や川や大地も、遠い昔を物語ってくれます。また、今私たちが使っている道具や衣服、住まいなども昔から改良を重ねて考え出されてきたものであることに気づかされます。これらは、人々の智慧や、よりよく生活しようとした努力の歴史でもあります。長い歴史の中には、そこに生きた人々の命がけで取り組んできた尊い遺産があり、おしえがあることを忘れてはなりません。

現代は、急速に変化する時代でもあります。そういう時代に生きる私たちだからこそ、「温故知新」（古きをたずねて、新しきを知る）というように、小千谷の歴史にいつそう親しみ、先人の営みに学ぶことで、これからのよりよい生活や将来を考える上で大切なヒントになることと思います。

そして、この冊子を手助けとして小千谷の歴史を知ること、小千谷に一層愛着と誇りをもち、そこに住む私たちの自信につながることを願っています。

平成三十一年（二〇一九年）三月

小千谷市教育委員会教育長 松 井 周之輔